

兵庫県立但馬農業高等学校と産学連携による共同実証

この度、産学連携による共同実証としてメタン発酵により生成される「消化液※」を但馬農業高等学校に提供することになりました。同校は、この消化液を利用して『ナスの露地栽培』『小松菜の水耕栽培』の自由研究をおこない、7月24日(火)には兵庫県学校農業クラブ連盟大会で栽培成果を発表します。

今回、共同実証により地元の農業高校へ協力することで、日本の農業ひいては地元の農業発展に貢献するとともに、トーヨーグループは新規事業の創出および新技術の研究開発などの新しい価値を生み出せることが可能となります。

現在、当社は兵庫県養父市の国家戦略特区においてトーヨー養父バイオメタン発電施設の建設を進めており、完成後はこの発電施設より生成される消化液を使用する計画です。

当社は、国内全域で再生可能エネルギーの他、アグリ事業にも注力し、特区認定事業者として営農とバイオメタンを組み合わせた事業を開始するなど、アグリ事業の新たな形にも取り組んでおります。

※消化液

蓄ふんや食品残渣などを混ぜた有機物を発酵させ、メタンガスを取り出して、燃料にした際に生成される副産物。



但馬農業高等学校の生徒が追肥（消化液）する様子

《お問い合わせ先》

兵庫県養父市八鹿町八鹿 1909-9

株式会社トーヨー養父バイオエネルギー TEL079-666-8805